

氏名 加藤 章信

所属 盛岡市立病院

役職 院長

これまでのキャリア

秋田県由利本荘市出身で岩手医科大学の1979年(昭和54年)卒です。2007年(平成19年)から盛岡市立病院で勤務しています。岩手医大では消化器内科(当時は第一内科)で肝疾患ことに「肝不全の診断と治療」を専門にしました。岩手医大では2001年からOSCEが導入されマニュアルの作成や試験官などに関わってきました。

私のもとではこれが学べる

研修医の皆さんひとりひとりに研修実施責任者がつき総合病院としての急性期病院機能と地域医療支援病院としての広域大規模急性期病院からの後送病院としての機能や地域診療所からの亜急性期症例を受ける機能など幅広い症例から多くの研修することが可能です。

教育にかける思い

研修医の皆さんが患者さんに寄り添った医療を提供できる医師に成長させるためにファーストタッチの診療を多く経験し総合力を身につけられるよう準備しています。また個々の研修医の皆さんに合ったテーラメードの研修が提供できるよう職員一同で取り組んでいます。

医学生へのメッセージ

わが国は急速に人口が減少する社会を迎えており2050年の総人口は1億人を割り人口構成も高齢化が進み「とことん型」といわれる「従来型」医療ニーズは減少し「まあまあ型」といわれる「生活支援型」医療のニーズが増えていきます。研修医の皆さんには「従来型」医療と「生活支援型」医療の両方を学べる当院で職員と共に有意義な研修を受けてもらいたいと思います。